



広報 びらとり 11

2014

No. 640
月号

一人ひとりがまちづくりの主役です 輝くびらとり未来につなごう

本町地区文化祭芸能発表 (11/8)



特集	功労者・永年勤続者表彰		P2
	平取町文化祭	進む 平取ダム建設工事	P3 P4
	まちのひろば	教育委員会からのお知らせ	P6 P8
	すこやかだより	図書館へ行こう	P12 P13

平成26年度功労者・永年勤続者表彰式

11月3日、中央公民館で平成26年度功労者・永年勤続者表彰式が執り行われました。
各分野の被表彰者と功績などは次のとおりです。(敬称略)

産業経済功労



仲山 一朝 (荷葉)

平成5年の当選から平成26年まで7期21年もの永きにわたり平取町農業委員(うち6年間は会長、3年間は会長職務代理者)として活躍され、農地の適正利用および有効活用を図り、また、農家の担い手育成に努めるなど今日の町農業の振興発展に大きく貢献されました。

産業経済功労



福山 昭三郎 (去場)

平成5年の当選から平成26年まで7期21年もの永きにわたり平取町農業委員(うち3年間は会長、6年間は会長職務代理者)として活躍され、農地の適正利用および有効活用を図り、また、農家の担い手育成に努めるなど今日の町農業の振興発展に大きく貢献されました。

善行賞



株式会社 小林組
代表取締役 小林 史明 (荷葉)

平成13年から現在に至るまで毎年、自主的取り組みとして「ミニ動物園」の開催を継続し、地域の児童や障がいを抱える子ども達に小動物を直に見て触れる機会を与えてくれました。
このことは児童等に命の大切さと動物への関心を高め、情操の成長に大きく寄与するものです。

奨励賞



振内自治会
自治会長 福澤 一光 (振内町)

昭和60年から現在に至るまで毎年、5月下旬から8月末までの100日間に行われる朝のラジオ体操運動「振内町民ラジオ体操100日大会」の取組みを継続し、本年度30周年に到達されました。
累計日数3000日におよぶ取り組みは、地域住民の健康増進に大きく寄与するものです。

永年勤続表彰

消防団員

奥村 寛行	(振内町)	35年
伊東 健一	(貫気別)	25年
水谷 忠幸	(本町)	15年
瀧 昌二	(本町)	15年
福澤 肇	(振内町)	15年
鈴木 耕一郎	(振内町)	15年
藤江 竜一郎	(振内町)	15年
福澤 孝彦	(振内町)	15年



平取町文化祭

11月1日から3日までの3日間、町内3地区（本町・振内町・貫気別）において文化祭作品展が行われ、各会場には個人やサークルなどの団体による作品が展示されました。

また、2日には振内地区、8日には本町地区において芸能発表会が行われ、舞踊・太鼓・カラオケなど、日頃の練習の成果を存分に発揮し、会場からは大きな拍手が送られました。



本町地区



振内地区



貫気別地区



健康づくり・介護予防に！ 社会貢献・生きがいに！

介護支援ボランティア制度を発足

町が指定する介護保険施設等でボランティア活動をすると、ポイントがたまり、換金することができます。

『介護支援ボランティア』とは

高齢者の皆さんにボランティア活動を通じて、地域に貢献する喜びを味わいながら、ますます元気に過ごしていただこうと「介護支援ボランティア活動」を実施します。

ご自身の健康づくり・介護予防につなげていただけるだけでなく、ボランティア活動の成果に応じてポイントがたまり、町の金券に換金することができます。

対象者は

- ① 65歳以上の平取町民（要支援・要介護認定者は除く）
 - ② 登録・研修会を受講された方
 - ③ 介護保険料を滞納されていない方
- 以上の方が対象になります

対象施設は

ボランティアを受け入れる機関は、町内の介護保険施設が対象です

- ① 特別養護老人ホーム平取かつら園
(本町 17-1)
- ② びらとりデイサービスセンター
(本町 104-6)
- ③ こころのホームふれない
(振内町 31-17)

活動内容は

- ◆ 衣類の整理、繕い
- ◆ 利用者の話し相手
- ◆ 配膳、下膳
- ◆ 車いす補助
- ◆ 施設行事等の参加支援
- ◆ 施設行事等の進行補助
- ◆ 清掃、草取り

※受け入れ機関の指示に従って活動しなければなりません。



介護支援ボランティアになるには

- ◆ まずはボランティア登録を申請します
- ◆ 登録された後、研修会を受講された方に、ポイント手帳を交付します
- ◆ 1時間の活動につき 100ポイント（100円）を付与します
(1日 200ポイント、年間 5,000ポイントを上限とします)
活動した施設からポイント手帳にスタンプを押して頂きます
- ◆ 換金は、活動の翌年度にまとめて平取町金券で交付します



介護支援ボランティアに関するお問い合わせ先

保健福祉課 介護支援係（ふれあいセンターびらとり内 ☎ 4-6112）



保健予防事業の推進と地域住民の健康増進をサポートする

保健推進員が配置されます

少子高齢化社会が到来する中、住民の健康増進がより重要となっています。町では、この対策として「保健推進員」を配置し、より一層住民の健康増進に取り組みます。

☞ 保健推進員とは具体的にどんなことをするのか？

- 保健推進員は、連絡会議や研修会への出席のほか、
- ① 町民の健康に対する知識の普及と健康増進の推進に関すること
 - ② 各種の検診や、予防接種等の周知と受診の勧奨に関すること
 - ③ 保健事業の推進に関すること
- を主な業務としています。



☞ 誰が保健推進員になるのか？

公募した中から、10名以内の定数で町長が委嘱することとなります。

☞ 保健推進員の活動任期は？

新たに委嘱された場合、2年間の任期で推進員の活動をお願いすることとなります。

お問い合わせ先：保健福祉課 保健推進係（ふれあいセンターびらとり内 ☎ 4-6112）



未来の農業を育てる統計調査を行います

2015年農林業センサスを実施

※センサスとは、全数調査を意味します。

農林業センサスは、農林業・農山村の「イマ」を明らかにして、「未来」を導くあなたと地域のため5年ごとに行う統計調査です。

☞ 調査が行われる時期

平成27年2月1日の状況について、平成26年12月～2月に調査員が訪問し調査を実施

☞ 実施される2つの調査と内容

① 農林業経営体調査

農家や林家、会社や集落営農など、農林業を営んでいる経営体の実態を把握する調査で、調査員が調査票の配付と回収を行います。

■ 調査内容 ■

経営の状態、世帯の状況、労働力、作業の受委託、耕地、農業生産の概況、農産物の販売、山林・林業作業、素材生産など

② 農山村地域調査（農業集落調査）

経営体の生産基盤や生活基盤である農山村地域の現状を把握するための調査で、地域に精通している調査員（代表者など）が調査票の配付と回収を行います。

■ 調査内容 ■

立地条件、総戸数、総土地面積、寄り合いの状況、地域資源の保全、地域活性化状況など

※調査への回答は統計法により義務づけられています。



びらとりトマト・和牛フェア2014(10/18~19)

びらとりトマト・和牛フェア 2014 が、サッポロファクトリーを会場に行われました。

会場では、トマトの詰め放題や農畜製品の販売、トマトジュースやびらとり和牛の試食、びらとり和牛やびらとり温泉ゆからのペア宿泊券が当たる抽選会などが行われ、たくさんの来場者で賑わいました。



平取町食育セミナー (10/26)

食育セミナーが、ふれあいセンターびらとりで行われました。

天竺大学の荒川義人教授・コープさっぽろ星野浩美食育推進グループマネージャーによる講演が行われたほか、子ども向けのクイズゲームでは「ビラッキー」と「トドック」が会場を盛り上げていました。

シシムカ文化大学講座 (10/26)

シシムカ文化大学講座と北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの共催によるシンポジウムが、沙流川歴史館で行われました。

「地域における先住民族文化振興の現状と展望」をテーマに、台湾の博物館活動などの事例紹介や、それぞれの現状と展望について意見交換が行われました。



平取ダム現地見学会 (10/29)

北海道開発局主催による平取ダムの現地見学会が行われ、貫気別小の児童や地域住民など約 90 人が参加し、芽生にあるダム工事現場を見学しました。

見学会では、担当者が工事の概要やダムの役割などを説明したほか、巨大な岩の一部をハンマーで叩く岩盤調査の体験が行われました。

札幌びらとり会交流会（10/29）

札幌市に在住する平取町出身者などで構成されている札幌びらとり会（石川文雄会長）の交流会がホテルポールスター札幌で行われました。

平取町からは川上町長をはじめ 18 人が、同会からは 63 人が出席しました。この交流会は毎年開催されており、参加者は郷土の思い出話に花を咲かせていました。



イオルの森散策・植樹体験（11/1）

イオルの森散策・植樹体験（兼にぶたに湖周辺自然観察会）が、にぶたに湖右岸のイオルの森で行われました。

参加者は、木の名前当てゲームなどで秋深まる森の中を散策したほか、森林管理署職員による木の高さの測定やアットウシの原料となるオヒョウ 220 本の植樹を行い、散策終了後は、新そばの試食会を行いました。

チセの新築祝い（11/1）

萱野茂二風谷アイヌ資料館の敷地内で、チセの新築を祝う儀式「チセノミ」が行われました。

このチセは、2012 年 8 月に火事で焼失したチセの近くに建てられ、今年 7 月から着工しました。

儀式には関係者約 50 人が集まり、火の神への祈りや、屋根裏にヨモギの矢を射る儀式を行いました。



小山兄弟がプレゼンターの大役（11/6）

ホッカイドウ競馬「第 41 回北海道 2 歳優駿（Jpn III）」の表彰プレゼンターに、兄弟そろって全国大会に出場した平取義経剣心会の小山椎名さん（平取中 2 年）と小山和馬さん（二風谷小 6 年）が務めました。

また、表彰式では、優勝したディアドムス号に騎乗した三浦皇成騎手ほか関係者にトロフィーを授与しました。



教育委員会からのお知らせ

子どもたちに身につけさせたい生活・学習習慣！

小学校6年生・中学校3年生を対象に4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果から、様々な課題が見えてきました。なかでも生活習慣では、例年同様の課題があることがわかりました。

学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、何よりも家庭との連携も非常に重要です。一人ひとりにあった規則正しい、基本的な生活習慣を確立するために、下記の4点について記載します。ご家庭で、子どもと一緒に取り組んでいきましょう。



振内小学校夏休み学習サポート

1. 「眠る」「食べる」「運動する」といった “いのちをはぐくむ” 基本的なこと

眠る：就寝時刻が遅くなったり、不規則になったりして、睡眠不足にならないように注意しましょう。朝もすっきりと目覚め、良い一日のスタートを！

食べる：規則正しい食生活が身につくようにしましょう。特に朝食を抜かず、偏食にも注意しましょう。

運動する：体力を養うため、体を動かす習慣を身につけましょう。

2. 「自信を持つ」「チャレンジする」「努力する」など“自立心・自律性をはぐくむ”こと

自信を持つ：子どものよいおこないを認め、子どもの自信をはぐくみましょう。

チャレンジする：子どもの興味・関心や何かをやろうとする意欲を大切にしましょう。

努力する：結果のみを評価するのではなく、努力する過程や姿勢を認めましょう。

3. 「会話する」「助け合う・協力する」「決まりを守る」など“社会性をはぐくむ”こと

会話する：安心感や信頼感をはぐくむため、子どもと会話する時間を大切にしましょう。

助け合う・協力する：家庭の中で子どもに仕事や役割を作りましょう。また、地域の活動や行事に参加する機会を作りましょう。

決まりを守る：帰宅時間、こづかいの使い方、携帯電話などの利用など、生活の決まりを子どもと一緒に作り、守らせるようにしましょう。

4. 「計画的に学ぶ」「社会に学ぶ」など“学ぶ力をはぐくむ”こと

計画的に学ぶ：自分の目標に向かって、計画を立てて実行する習慣を身につけさせましょう。

社会に学ぶ：社会の出来事や仕組みについて、一緒に考える機会を作りましょう。

(ニュースや新聞などを利用することも有効です。)

一日の生活リズムの中に“学ぶ”時間の位置づけを？

平取町の小中学校では家庭学習の時間の目安を学年×10分としています。たとえば小学校4年生であれば4×10分=40分ということになります。中学校2年生(小学校8年生)であれば8×10分=80分ということになります。4月の調査の結果から、毎日1時間以上学習している割合は残念ながら小学校6年生では40%程度、中学校3年生では70%程度の状況です。

その弊害となっているのが、小中学校ともにTVやゲーム、さらに中学校では携帯などに割く時間が多いことです。学校では二学期も残り1ヶ月、今一度、生活習慣を見直す機会ととらえ指導しています。各学校で配布している「家庭学習のてびき」や担任の先生などと相談するなどしながら、一日の生活のリズム・一週間の生活のリズムを作りあげ、充実した日々を過ごしていきましょう。

びらとりミュージックフェスティバル ～町民芸術劇場～

10月26日、「びらとりミュージックフェスティバル」を中央公民館で開催し、町内外から、300人を超える音楽ファンが来場しました。

今年で2回目となるフェスティバルは、東日本大震災の復興等に力を注ぐなど「TOMORROW」でお馴染みの歌手、岡本真夜さんをはじめとして、6組の出演者で5時間に及ぶコンサートとなりました。

地元の親父バンド、ボーズハーフによるベンチャーズナンバーで開幕すると、会場内は一気にヒートアップし、続いてのシャンソン・演歌・ジャズに酔いしれる間もなく、北海道のブルーコメッツと異名を持つ、ザ・キップーズの演奏が始まると、たまらず踊るファンも。

午後2時20分に開演となったコンサートは、時間の経過も気になることなく、ラスト出演となった岡本真夜さんが、自身のピアノとギター演奏による数々の曲には、詰め掛けた観客は魅了され、盛大な拍手とともに、幕が下ろされました。

来場者からは、「幅広いジャンルの生の音楽を聴き、ストレス解消ができました」との声がありましたが、今後とも多くの町民に鑑賞いただけるよう計画していきたいと考えています。



岡本 真夜さん



黒岩 静枝さん



ザ・キップーズ

子ども芸術劇場(保育所の部)開催 ～ジャグリング・マジックショー～

10月27日、町内保育園児を対象に、子ども芸術劇場の保育所の部を開催しました。

ジャグリングパフォーマー「KURO」による、笑いが絶えないレベルの高いパフォーマンスは、子どもたちを夢中にさせ、30分の公演もあっという間に終わりましたが、KUROさんの優しい人柄に子ども達はすぐに馴れ、園児たちは帰り際、「KUROさん、また来てねー」と声をかけていました。



教育委員会からのお知らせ

今年も町内 3 地区で恒例のスポーツまつりが行われています！

各地区の自治会や体育協会などが中心となり、恒例のスポーツまつりなどが今年も開催されています。普段練習していない初心者同然の参加者も多い大会なので、お互いにミスをして笑い合うような、顔なじみ同士が和気あいあいとスポーツを楽しむイベントです。

冬の大会も予定されていますので、まだ参加したことのない方もお友達やご近所同士誘い合って、一緒に楽しみましょう！



第 23 回貫気別地区スポーツまつり

- ☆パークゴルフ大会 (8/10)
- ☆ゲートボール大会 (9/19)
- ☆テニボン大会 (12/21)
- ☆バドミントン大会 (1/14、16)
- ☆ミニバレーボール大会 (2/15)

第 36 回振内地区町民スポーツフェスティバル



- ☆ソフトボール大会 (9/7)
- ☆ビーチボールバレー大会 (2/15)



第 22 回本町地区スポーツ祭

- ☆ソフトボール大会 (10/5)
- ☆ゲートボール大会 (〃)
- ☆パークゴルフ大会 (〃)
- ☆ストラックアウト大会 (〃)
- ☆ミニバレーボール大会 (1/18)



初心者とは思えないジャンプ！～トランポリン体験教室～



10月26日、町民体育館で「トランポリン体験教室（大人の部）」を開催し、中学生7人、高校生1人、成人1人が参加しました。

講師のアドバイスを受けながら跳ぶ度に技を身に付け、最後には10連続技を成功した参加者も多く、大いに楽しんでいました。

サケを利用した暮らしの知恵

サケの遡上と北海道

サケが産卵のために川へ遡上する風景は北海道の秋の風物詩としてお馴染みのものです。サケは刺身、寿司、石狩鍋、ちゃんちゃん焼き、切り身の焼き物など、様々な調理法があり、私たちの食卓を彩ってくれます。また、都道府県別にみると北海道はサケの漁獲量が全国1位で、消費量も上位に位置づけられています。北海道を象徴する魚として親しまれており、地産地消の代表格といえる存在でもあります。

アイヌ文化の食材利用

アイヌの伝統的な暮らしでもサケは主食魚です。調理法においてはサケのそれぞれの部位の良さを活かし、美味しく食べるための工夫がなされています。主な調理法であるオハウ（汁）のほか、チタタフ（サケの白子と頭の軟骨を刻んだ物）、ルイペ（凍らせたサケ）といった調理法があります。また、アタツ（開き干しのサケ）、サッチェフ（丸干しのサケ）、サッチポロ（干し筋子）などの保存技術を通していつでも食べられる知恵が伝えられてきました。



軒下に干したアタツ（12月：町アイヌ文化情報センター）

北海道の暮らしで培われてきた様々な利用法

食材以外にもサケは北海道の暮らしの中で様々な形で利用されてきており、その中には自然の恵みを余すところなく活用する先人の想いや工夫が見受けられます。

チェブモクラフ（サケのひれ）は流行り病があった時に病気の神に捧げる供物で、サケの背びれ、腹びれ、尾びれなどが使われました。また、サケの皮はチェブケリ（サケ皮の靴）やチェブウル（サケ皮の外套、魚皮衣）などにも利用されました。

アイヌ文化の継承とサケ

昔も今も、サケは私たちの生活に欠かすことのできない大事な存在です。平取町ではアシリチェブノミ（新しいサケを迎える儀式）やサケを使った伝統料理講習会等を継続的に行っており、アイヌ文化の継承とサケが密接に結びつく暮らしをみることができます。また、二風谷アイヌ文化博物館にはサケを利用して作られた民具や調理法を記載した資料があります。お立ち寄りの際はぜひご覧になってみて下さい。

サケの名称一覧

アイヌ語：沙流方言（知里真志保 1963 『分類アイヌ語辞典 動物編』より）

チェブ (ci-e-p: 我ら・食う・もの)、イペ (ipe: 食べ物)、シペ (si-ipe: 真・魚)、カムイチェブ (kamuy-cep: 神・魚)、ヘルケケチェブ (hererke-cep: 光る・魚 海にいたときの名称)、オイシル (oisiru: 尻・もの・こする 産卵後の尾のすりきれたサケ) など

和語

シャケ、アキアジ、アキサケ、ときしらず（沖取りのサケ）、けいじ（秋に接岸したサケのなかでも未成熟のもの）、ホッチャレ（産卵後のサケの死骸）など

目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

Health Information

平成26年度 市民後見制度学習会開催

ふれあいセンターびらとりにおいて9月19日(金)「平成26年度市民後見制度学習会」(主催 平取町高齢者虐待防止ネットワーク会)が開催され、「誰もが笑顔になれる地域を生活を支える市民後見制度」をテーマに、東京大学ビジョン研究センター市民後見実証プロジェクト特任専門員の佐々木佐織氏が講演し、49人の町民の方々が学習を深めました。



講演の中で、認知症・知的障害・精神障害を抱えている方が全国で837万人いる中で、法律的に権利を守るための支援をする「成年後見制度」の利用者は、その約2%に過ぎない実態と、権利を守るための支援を受けることで、在宅生活が継続できた具体的な実践例が説明されました。

成年後見制度の潜在的ニーズと利用者数

- ① 認知症高齢者 462万人
- ② 知的障がい者 55万人(18歳以上)
- ③ 精神障がい者 320万人

合計 837.0万人

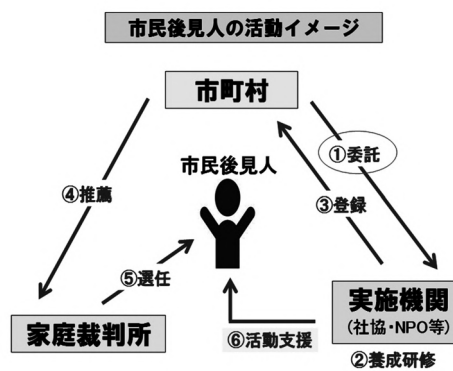
【①は25年厚労省調査 ②③は25年障害者白書】

成年後見利用者 17.7万人

【25年最高裁判所調査】

これらの実態や実践例とおし、佐々木氏は、認知症や障害を抱えながらも、権利を守るための支援を受けることで、住み慣れた地域で暮らし続けられること・そのためには、同じ地域に住む住民が財産の管理

や介護契約などの法律行為を行うことが可能になる、市民後見人制度の必要性を強調されました。



市民後見人養成講座を受講する意義について

市民後見人になるには市民後見人養成講座を受講することが必要となりますが、養成講座を受講することで必ず市民後見人にならないければいけないわけではないと佐々木氏は説明されています。

後見制度について学習の機会を町民の方々が持つことにより、地域の方々の見守りの密度が高まり、潜在的ニーズを地域住民からす

くいあげることが可能になること、それが「町の福祉力の向上」、「虐待の防止」といった町全体の力に繋がっていく、権利を侵害されている方たちへの早期発見に繋がっていくと説明されました。

より多くの町民の方々に制度の理解を進めていくため

今回の学習会より、地域の方々に制度を知っていただくことが大切であることを考え、平取町高齢者虐待防止ネットワーク会議では12月2日に成年後見制度のセミナーの開催を予定しています。

誰もが安心して暮らし続けられる平取町を一緒に考えられる機会として、より多くの町民の方の参加をお待ちしています。

【お問い合わせ先】

平取町高齢者虐待防止
ネットワーク会議
事務局

地域包括支援センター

「ほほえみ」

(ふれあいセンターびらとり内)

☎2・3700

図書館へいこう 平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 10:00～18:00 土・日曜日 10:00～17:00
 ○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。
 TEL 4-6666 FAX 4-6871 E-mail risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『3時のアッコちゃん』／柚木麻子
 『だいじな本のみつけ方』／大崎梢
 『物語のおわり』／湊かなえ
 『埋れた牙』／堂場瞬一
 『少女A』／新堂冬樹
 『夜また夜の深い夜』／桐野夏生
 『ずっとあなたが好きでした』
 ／歌野晶午
 『ワンダフルストーリー』
 ／伊坂幸太郎ほか
 『風花伝』／葉室麟
 『心中しぐれ吉原』／山本兼一
 『スケープゴート』／幸田真音
 『虹の向こうの未希へ』／遠藤美恵子
 『4 Unique Girls』
 ／山田詠美



【家庭・生活・趣味】

『煮込み料理をご飯にかけて』
 ／坂田阿希子
 『デトックスしてやせる! おからの
 パワーアップレシピ』／石澤清美
 『大人気の悉皆屋さんが教える!
 着物まわりのお手入れ』／高橋和江



【社会・経済・その他】

『竹鶴とリタの夢』／千石涼太郎
 『いのちの花』／向井愛美
 『似ていることば』／おかべたかし
 『新 家庭の税金 2014-2015』
 ／湊義和
 『夫の葬儀とその後事典 葬儀法要
 ・相続・手続きのすべて』／黒澤計男・溝口博敬



職場体験に来てくれました!

10月21～22日の2日間、平取中学校2年生の清水勢也さん、原田麻衣さんが職場体験学習に来ました。館内の掃除やカウンターでの貸出・返却作業、壊れた本の補修などを体験してもらいました。また、自分の好きな本のおすすめポイントなどを書いたPOP(ポップ)を作って飾る「おすすめ本コーナー」の展示にも挑戦しました。



クリスマス絵本展

11月25日(火)から開催します



図書ワゴン(移動図書館車) 運行日程【12月】

4日(木) 【貫気別地区】

10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前
 11:30～12:00 貫気別生活館
 13:15～13:45 芽生生活改善センター
 14:00～14:30 旭生活館

5日(金) 【振内地区】

11:00～12:00 山の駅ほろしり館
 13:15～13:45 岩知志ふれあい館
 14:15～14:45 豊糠生活改善センター

- 利用者カードがなくても、ご利用できます。
- 貸出期間は、**次回の巡回日まで**になります。
- 本の返却、不用な本のご寄贈も受け付けます。

12月の休館日

1・8・15・22・23・29～31日

1月の休館日

1～5・12・13・19・26日



今月のワンショット



■振内地区文化祭作品展示 (11/1～3)

役場関係電話番号

- 平取町役場 (本庁)
- 総務課(代表) ☎2-2221
- まちづくり課 ☎2-2222
- 産業課 ☎2-2223
- 税務課 ☎2-2224
- 出納室 ☎2-2225
- 建設水道課 ☎2-2226
- 議会事務局 ☎2-2227
- アイヌ施策推進課 ☎2-2341
- 農業委員会・土地改良区 ☎2-2695
- ふれあいセンターびらとり ☎4-6111
- 保健福祉課 ☎4-6112
- 町民課 ☎4-6113
- 児童館 ☎2-3026
- 子ども発達支援センター ☎2-3400
- 地域包括支援センター「ほほえみ」 ☎2-3700
- 平取町社会福祉協議会 ☎4-2267
- 図書館 ☎4-6666

- 平取町教育委員会
- 中央公民館 ☎2-2619
- 町民体育館 ☎2-2749
- 二風谷アイヌ文化博物館 ☎2-2892
- 沙流川歴史館 ☎2-4085

- 役場振内支所 ☎3-3211
- 役場貢気別支所 ☎5-5204

- 平取町国民健康保険病院 ☎2-2201

- 平取町外2町衛生施設組合 ☎2-2024

- 日高西部消防組合平取支署 ☎2-2361

平取町公式ホームページ



QRコード

すずらん短歌会詠草

箸を持つわずかの時間も惜しみつつ コンビニのおにぎり頬張り稼ぐ 石川原 多満代	スーパーの陳列台に季をとわず 果物あふれ我を迷わす 中原 千鶴子	ペガサスに乗って行きたい天の川 昨夜の雨音に眠れず泣けた 高橋 洋子	折り子膳心こめてのお供えよ 小さな仏具にそつと箸そえ 相田 のぶ子	亡き夫の好物プランを買い求め 仏前に供えし我が頂く 中沢 三子
---	--	--	---	---------------------------------------



まちの人口と世帯数		
人口	5,496人	(△ 9)
男	2,680人	(△ 6)
女	2,816人	(△ 3)
世帯数	2,658世帯	(0)

()内は前月比 10月末現在

交通事故発生状況		
発生件数	4件	(0)
死者数	1人	(0)
傷者数	4人	(△ 3)

()内は前年比 10月末現在

死亡事故ゼロ日数 276日

発行／平取町総務課広報広聴係 ☎055-0192 北海道沙流郡平取町本町28番地

ホームページ <http://www.town.biratorikawa.hokkaido.jp>
 Eメール info@town.biratorikawa.hokkaido.jp